

会議等結果報告書

会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	上富子育第688号
		決裁期日	令和6年9月20日
名称	令和6年度 第2回子ども・子育て会議		
日時	令和6年9月20日（金） 10:00~11:45		
場所	こどもセンターハウス会議室		
出席者	子ども・子育て会議委員 12名（別紙名簿参照） 役場 保健福祉課 三好課長、菊池主幹、武山主幹、末永主幹、白井主査、坂本主査、後藤主査、木澤主事		
内 容	<p>・開会（進行：三好課長）</p> <p>1 委員長挨拶 ・松原委員長（北海道科学大学保健医療学部看護学科教授）より挨拶。 プラネタリーアーク（地球環境の変化が人間の健康に影響している）という言葉がありますが、自然環境を守りながら子どもの未来を守ることが大切なことで、その点も踏まえて、本日も活発な意見をいただきたい。</p> <p>2 議題 (1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の事業評価について …[資料1]（事務局説明） 【質疑・応答 意見等】 なし</p> <p>(2) こども計画の素案について…【資料2】（事務局説明） 【質疑・応答 意見等】 ・村上委員：第1章（5ページ）で、令和6年の世帯数が令和2年よりも増えているが、間違いないか。 ・事務局：令和2年までは国勢調査の結果、令和6年は住民基本台帳の登録者数。もとにしているデータが違うので、数字に大きな違いが出てきている。 ・松原委員長：6ページの目標と現状を見ると、⑦一時預かり事業【一般型】の数字が大きく異なるが、どうなっているのか。 ・事務局：令和6年度の目標値は、5年前に第2期の計画を作った段階での数値になっている。令和5年度の実績値が増えているのは、ファミリー・サポート・センターの利用が大きく増えた結果。令和7年度以降の計画策定にあたっては、そこを意識して作ることになる。</p>		

(次ページへ続く)

第4章から第6章は説明後にグループワーク実施、その後発表。

【1 グループの結果発表】

- ・ゴミ袋の支給については、30リットルの袋では小さい。
- ・新生児を連れて外出するのは大変なので、オムツを家まで届ける。
- ・木工の盛んな自治体で椅子をプレゼントしている事例もあるので、上富良野で生まれた記念になるものをプレゼントする。
- ・チャイルドシートの購入に助成金を出す。
- ・ゴミ袋、オムツ券、赤ちゃん用洗剤セットなどから、自分の希望するものを選択できる仕組み。
- ・多子世帯は経済的負担が大きいので、給食無償化、保育料無償化などの経済的支援。
- ・育児用品のリサイクルの再開。チャイルドシートなど利用する期間が限られるもの。
- ・ファミサポで病児保育を行っているが、なかなか周知されていない。民営サービスの周知と受け入れ態勢の整備。
- ・自転車のヘルメット着用は、現在の努力目標から義務化になっていくと予想される。学校の校則としてすることで、子どもたちも抵抗なくヘルメットを着用するようになる。
- ・学用品支援対象の基準を引き下げる。

内 容

【2 グループの結果発表】

- ・ゴミ袋の代わりになるものとして、カタログから好きなものを選べる制度や、オムツの配布。
- ・小児科がないので、週に数回でも小児科の先生が来てくれるとありがたい。
- ・上富良野で生まれた記念品として、豚サガリやラベンダーなどの特産品を。
- ・予防接種が毎週1回で、予約も決まった時間に電話のみ。仕事をしていると、決まった時間に電話予約は難しい。もう少し簡単に予約する方法がほしい。予防接種の日数も増やしてほしい。
- ・富町のロータリー交差点は、一時停止の標識が見づらい。標識に気づかずスピードを出している外国人観光客を見かける。標識を見やすくする、道路に書く、スピードを緩める効果のある山型の板を置くなど設置してはどうか。
- ・富良野市と比較すると、プールやスキーが無料など、上富良野の方が恵まれている。
- ・東児童館はエアコンが設置しており、夏は涼しく過ごすことができる。

【3 グループの結果発表】

- ・ファミサポの利用実績が伸びているが、アンケート結果を見ると知られていない。まずは繋がることが重要なので、伴走型支援や妊婦相談の時に、ファミサポが同席して繋がる機会ができると良い。
- ・支援は充実してきたが、どれだけ町民に知られているのかが課題。SNSや広報誌、ICTを活用して情報の周知を図っていきたい。ホームページが見づらいとの指摘があった。
- ・子育て会議のように、皆さんのが集まって繋がり、情報を伝えていく、ネットワークを大切にする。

(次ページへ続く)

- ・ゴミ袋の代わりになるものは、皆さん必要なものが違うので、選べるようにする。
- ・給食費の無償化は保護者としてはうれしいが、給食センターの老朽化対策の方が優先度は高い。
- ・子どもを預けることができるクーポン、お試し券のようなものがあると、保護者のリフレッシュに繋がる。次の利用に向けて、安心して預けることができるようになる。

(3) その他

①次回会議の開催について

事務局：次回の会議は、11月開催の予定。

②その他

事務局：こども計画の素案について意見・要望がある方は、10月1週目までに子育て支援班に連絡していただきたい。

閉会

内 容